

9) JR蒲田駅東側地区

| | 分析項目 | 分析結果のポイント |
|--------------|---------------------|--|
| 消費者の 現状分析 | 住民に関する統計 データ分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の人口（特に25～29歳）と中高年層（特に60～64歳）の割合が高い。 ・単身者の世帯割合が高い。 ・中卒・高卒の割合が高く大卒・大学院卒の割合が低い。 ・外国人の割合は東京都の平均よりも高い。 ・30㎡未満の狭小住宅の住民の割合が高い。 |
| | 消費者として感じて いる不足業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・「あったらよいと思う店はない」と回答している割合は区内平均とほぼ同様である。 ・不足業種として割合が高いのは「菓子・パン店」「書籍・文具店」「惣菜店」「総合スーパー」「食品系スーパー」である。 |
| | 区内外の商業地の 利用頻度 | <ul style="list-style-type: none"> ・「蒲田駅周辺」の利用頻度が最も高く、7割を超える人々が月に1回以上の頻度で利用している。 ・次いで、「川崎駅周辺」「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」「東京都心」と続いている。 |
| | 近隣の商店街に 対する評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・「自宅や職場に近い」と評価する人が約9割にのぼっている。 ・また、「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」「品質・鮮度がよい」「買物に時間がかからない」「価格が安い」という点で評価されている。 ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「駐輪場設備が充実していない」という点で評価されていない。 |
| | あなたにとっての商 店街 | <ul style="list-style-type: none"> ・「買物をする場所」と全体の4分の3が回答、次いで「サービスを利用する場所」が約4分の1となっている。 ・他の地区に比べて、「飲食をする場所」という回答が相対的に少ない。 |
| | 大田区で紹介した い観光資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・区内で推薦したい観光資源としては、「羽田空港」「池上本門寺」「大田市場」が高い割合となっているが、「池上本門寺」は区内平均より割合が低くなっている。 |
| 供給者の 現状分析 | 業況感 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やや上昇している」「横這い」の割合が、区内平均から見て、相対的に高い割合となっている。 |
| | 供給者として感じて いる不足業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・不足業種として割合が高いのは「書籍・文具店」「鮮魚店」「青果物店」「喫茶店・カフェ」「精肉店」である。 ・消費者側では一位とニーズの高かった「菓子・パン店」が、消費者側の不足業種として割合は低めであり、消費者とのギャップが見られる。 |
| | 良い影響を与える 店舗等 | <ul style="list-style-type: none"> ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。 ・「良い影響を与える店舗等」として、特段多く挙げられているものは少ない。 |
| | 脅威を与える 店舗等 | <ul style="list-style-type: none"> ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。 ・「脅威を与える店舗等」としては、総合スーパー、食品系スーパー共にOKスーパーを挙げる割合が高い。 |
| 供給者の 現状分析 | 商店街活動の 活発度 | <ul style="list-style-type: none"> ・「かなり活発」「やや活発」と回答した商店街の割合の合計は、区内平均とほぼ同等。 ・一方で「あまり活発ではない」と回答した商店街の割合も区内平均より低くなっている。 |
| | まちづくりへの 関心 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やや関心がある」の割合が区内平均よりも高いが、全般的にほぼ同等。 |

| | |
|------------------------|---|
| コミュニティビジネスへのニーズ | <ul style="list-style-type: none"> 区内平均と比べ、「高齢者支援」「まちづくり・地域活性化の支援」「子育て支援」ニーズが相対的に低く、「地域情報の発信」「企業や個人の事業支援」のニーズが、相対的に高い。 |
| 店舗経営上の悩み | <ul style="list-style-type: none"> 区内平均と比べ、「自社を効果的にPRする方法が分からない」「事業連携・提携をするための他の事業者との交流の機会がない」という悩みの割合が相対的に高く、「他店舗との差別化を図るものがない」「資金繰りに苦労している」「思うように人材確保ができない」という悩みの割合が相対的に低い。 |
| 後継者の有無と今後の事業継続 | <ul style="list-style-type: none"> 区内平均に比べて「同程度の事業規模で継続を予定」「事業規模の縮小を予定」と回答した割合が高い。 また、「後継者がいる」「後継者(親族)を探している」店舗は区内平均より少なく、5割は自分の代で店舗を閉める意向である。 自分の代で店舗を閉める店のうち、「わからない」とする店舗が区内平均よりも高く、「店舗を人に貸す」が低くなっている。 |
| 地域としての特徴・強み | <ul style="list-style-type: none"> 地域の特徴・強みとして「産業(特産品、工芸品、町工場、地元の有名企業等)」「料理(地元の名物料理、B級グルメ等)」を挙げる割合が区内平均よりも若干高く、「名所・旧跡(神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」「文化・歴史(祭り、神輿、神楽、踊り、太鼓等)」を挙げる割合が低い。 |

⑧JR蒲田駅東側地区の対象の町丁目



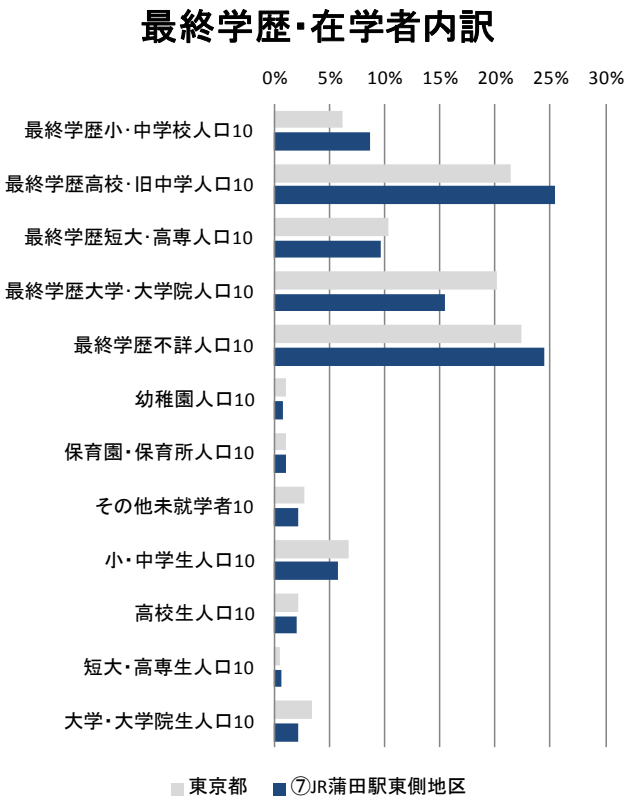
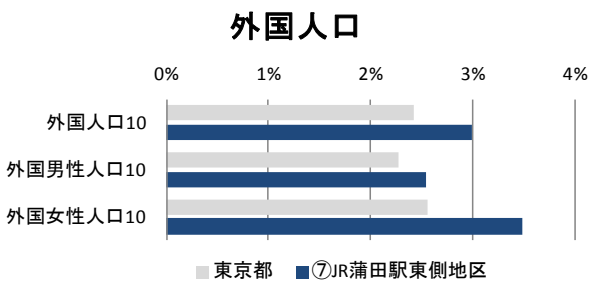
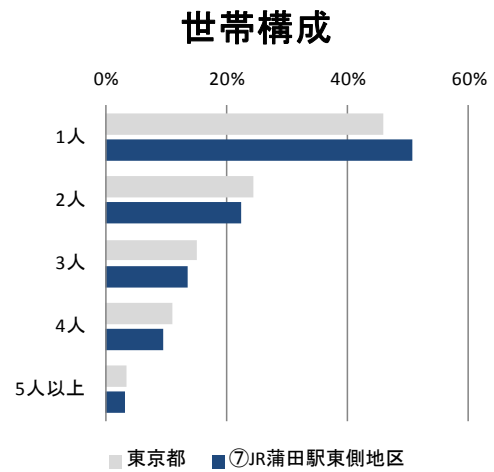
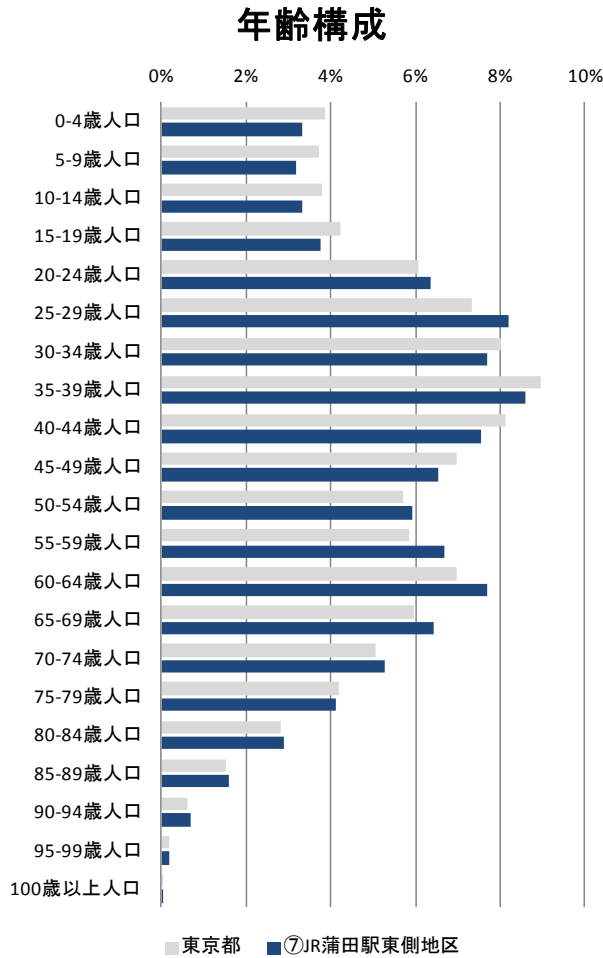
- ・東蒲田1丁目～2丁目
- ・南蒲田1丁目～3丁目
- ・蒲田1丁目～5丁目
- ・蒲田本町1丁目～2丁目
- ・仲六郷1丁目～4丁目
- ・南六郷1丁目～3丁目
- ・東六郷1丁目～2丁目

1)消費者の現状分析

■住民に関する統計データ分析

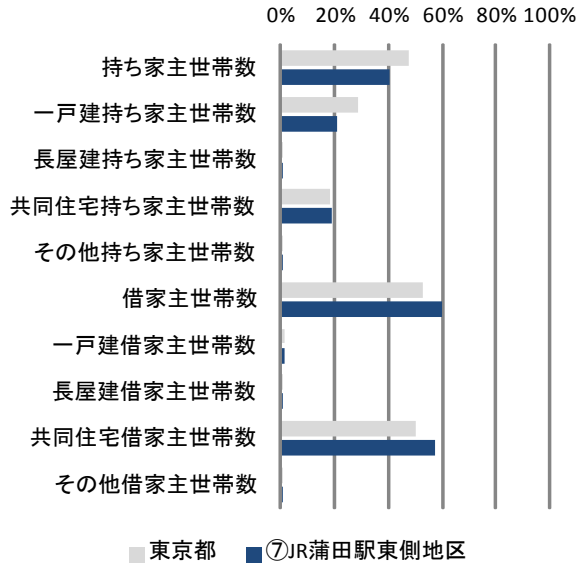
- ・若年層の人口（特に25～29歳）と中高年層（特に60～64歳）の割合が高い。
- ・単身者の世帯割合が高い。
- ・中卒・高卒の割合が高く大卒・大学院卒の割合が低い。
- ・外国人の割合は東京都の平均よりも高い。
- ・30㎡未満の狭小住宅の住民の割合が高い。

JR蒲田駅東側地区の住民に関する統計データ（1）

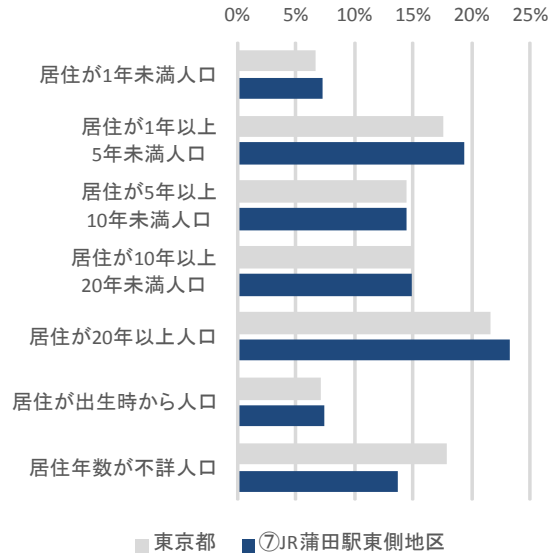


JR蒲田駅東側地区の住民に関する統計データ（2）

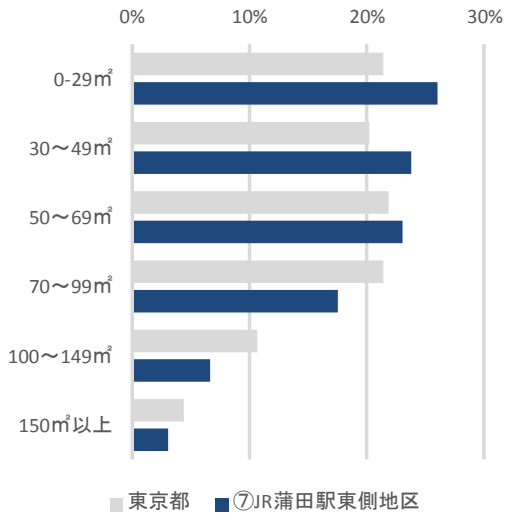
住宅の所有形態



居住年数



住宅面積

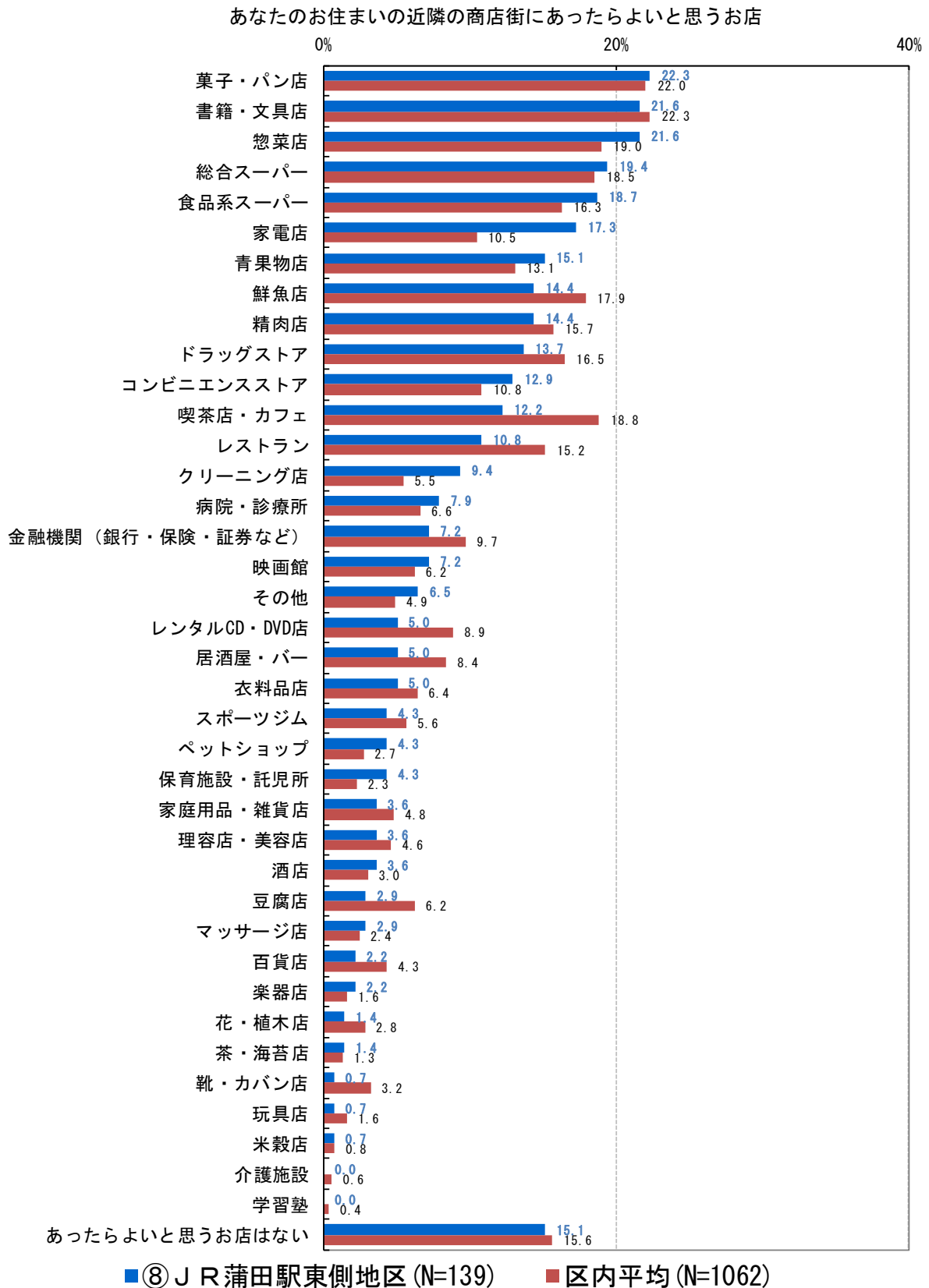


■ 商圈の基礎指標 ⑦JR蒲田駅東側地区

| | |
|------------|--------|
| 人口総数10 | 89,923 |
| 世帯数10 | 46,195 |
| 昼間人口総数10S | 83,042 |
| 昼夜人口比率 | 92% |
| 全産業事業所数10S | 5,098 |
| 小売業事業所数10S | 817 |
| 飲食店事業所数10S | 850 |

■ 消費者として感じている不足業種（区民 Web アンケート 問 7-2 の地区別集計）

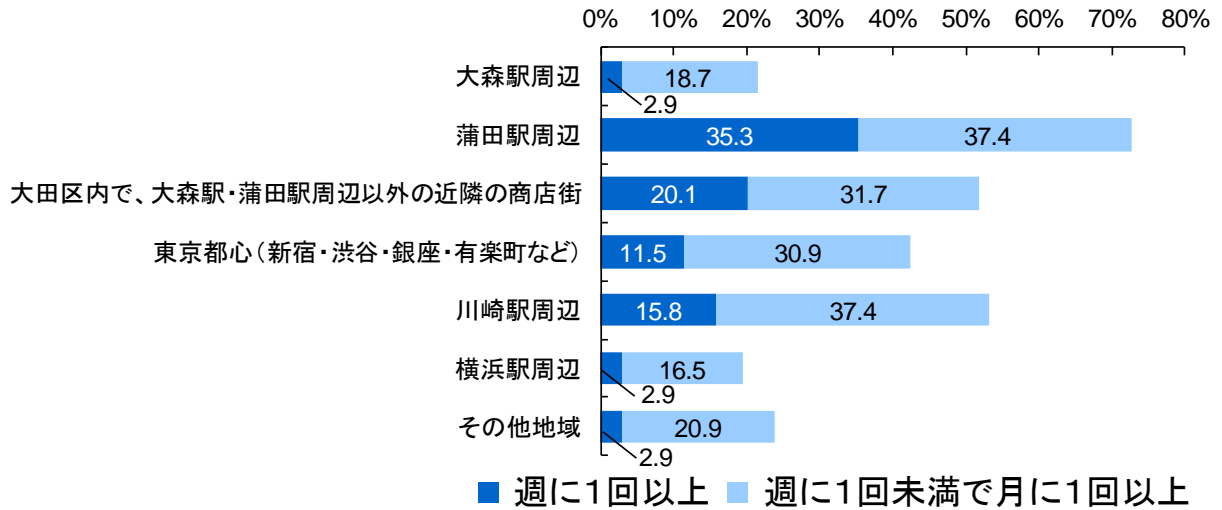
- ・「あったらよいと思う店はない」と回答している割合は区内平均とほぼ同様である。
- ・不足業種として割合が高いのは「菓子・パン店」「書籍・文具店」「惣菜店」「総合スーパー」「食品系スーパー」である。



■ 区内外の商業地の利用頻度（区民 Web アンケート 問 5 の地区別集計）

- ・「蒲田駅周辺」の利用頻度が最も高く、7割を超える人々が月に1回以上の頻度で利用している。
- ・次いで、「川崎駅周辺」「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」「東京都心」と続いている。

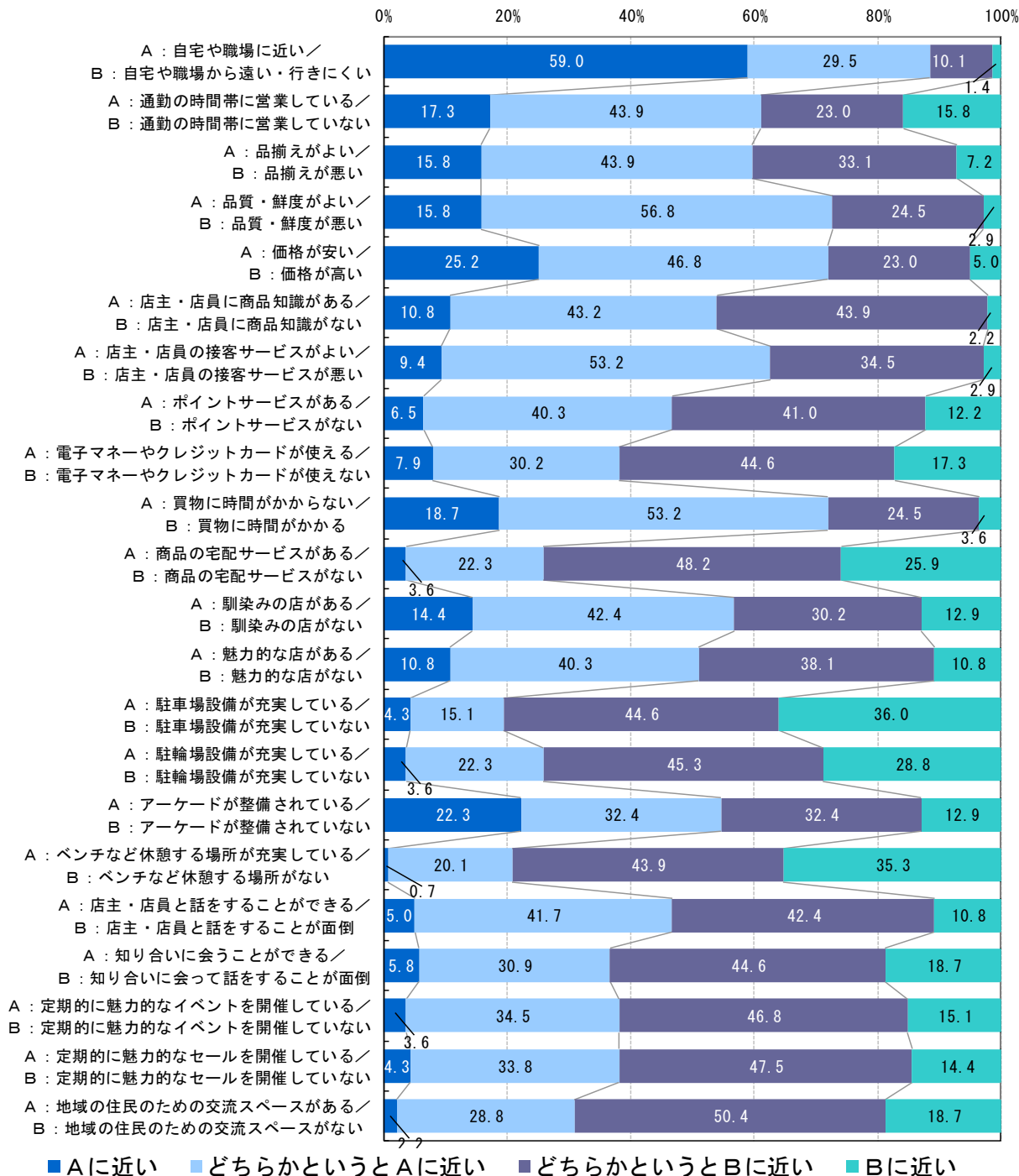
⑧ J R 蒲田駅東側地区



■近隣の商店街に対する評価（区民 Web アンケート 問7の地区別集計）

- ・「自宅や職場に近い」と評価する人が約9割にのぼっている。
- ・また、「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」「品質・鮮度がよい」「買物に時間がかからない」「価格が安い」という点で評価されている。
- ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「駐輪場設備が充実していない」という点で評価されていない。

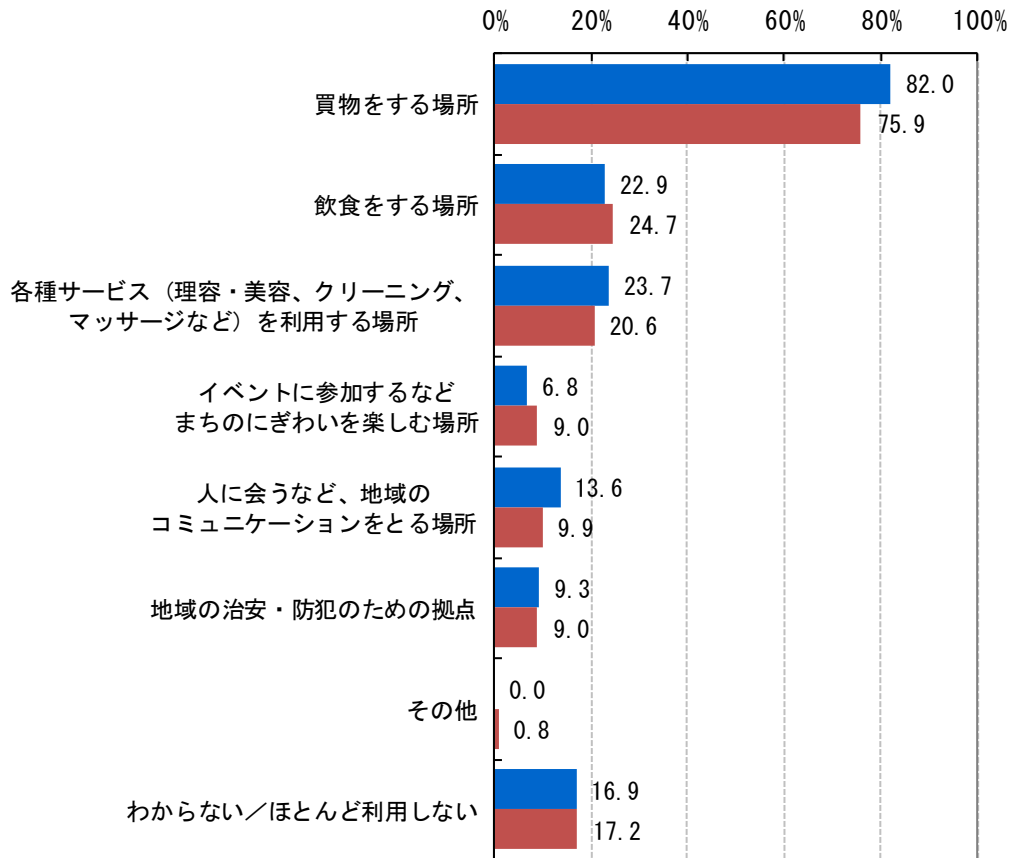
大田区内であなたがよく利用する、またはあなたのお住まいの近隣の商店街について、あなたのお考えに近い方をお知らせください（㊸JR蒲田駅東側血区）



■あなたにとっての商店街（区民 Web アンケート 問 8 の地区別集計）

- ・「買物をする場所」と全体の 4 分の 3 が回答、次いで「サービスを利用する場所」が約 4 分の 1 となっている。
- ・他の地区に比べて、「飲食をする場所」という回答が相対的に少ない。

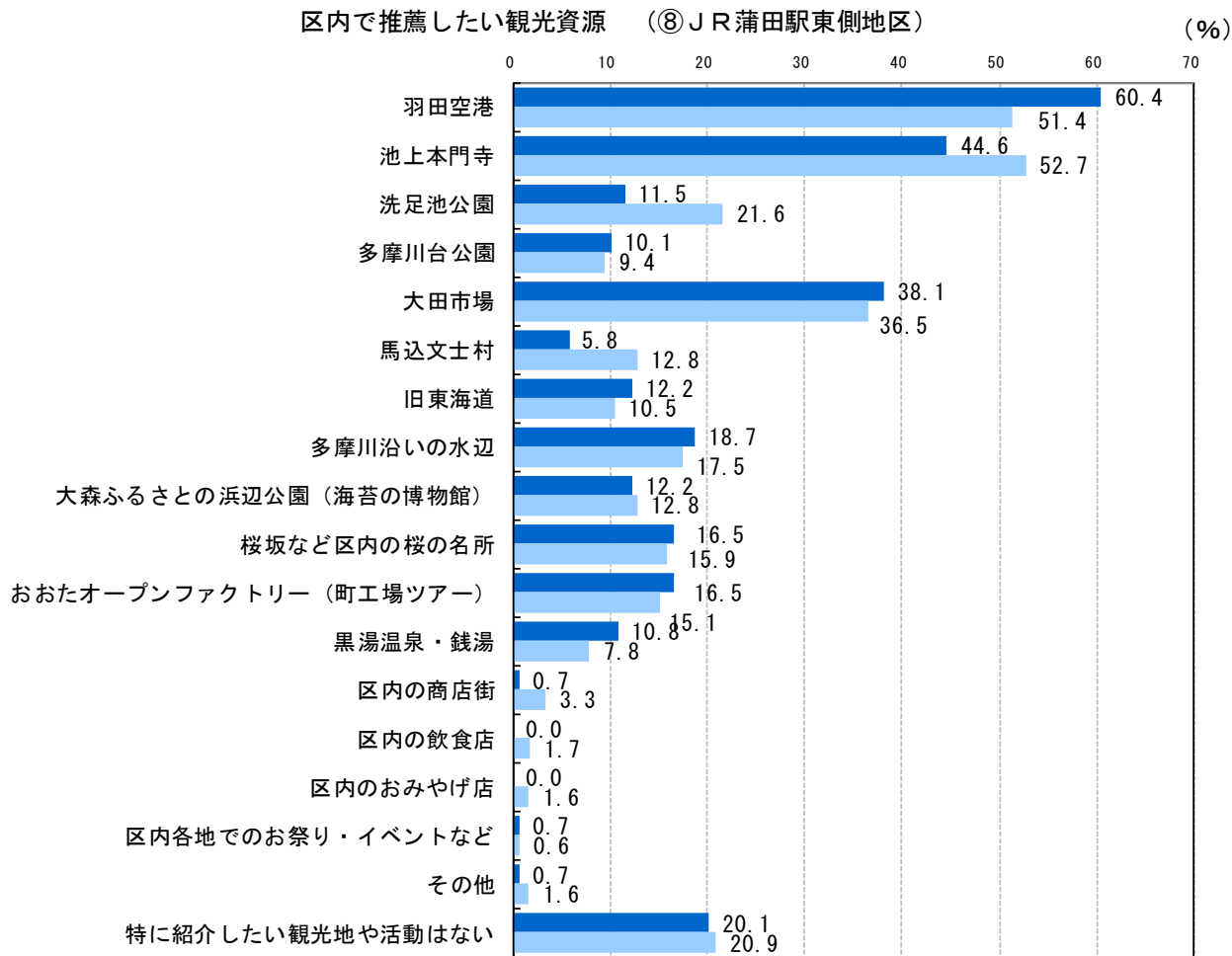
あなたにとって、商店街はどのような場所か？
（⑧ J R 蒲田駅東側地区）



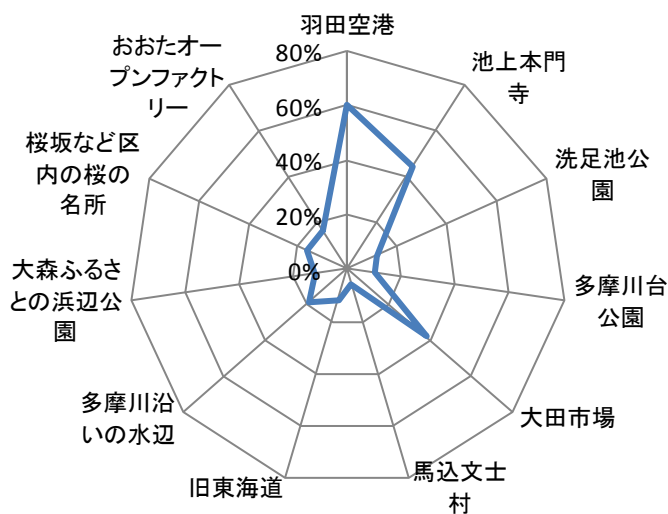
■ ⑧ J R 蒲田駅東側地区 (N=139) ■ 区内平均 (N=1062)

■区内で推薦したい観光資源（区民 Web アンケート 問 10 の地区別集計）

- 区内で推薦したい観光資源としては、「羽田空港」「池上本門寺」「大田市場」が高い割合となっているが、「池上本門寺」は区内平均より割合が低くなっている。



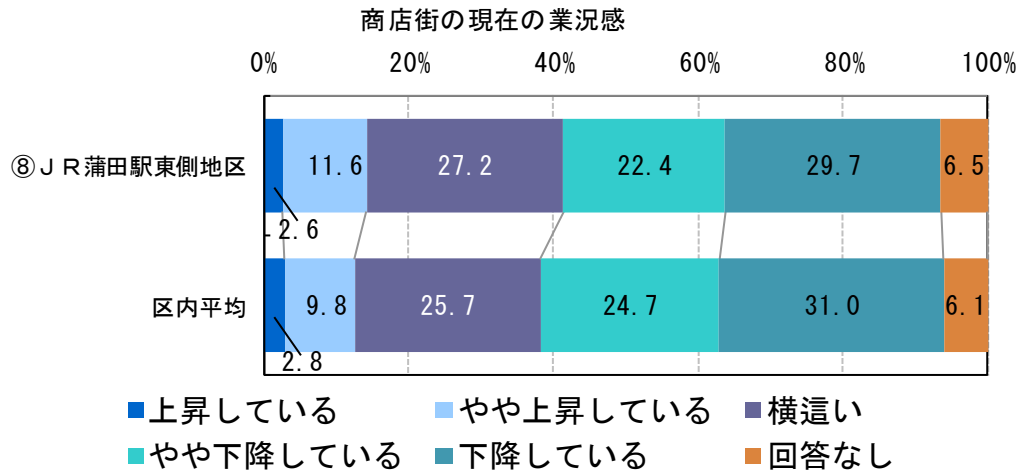
■ ⑧ JR 蒲田駅東側地区 (N=139) ■ 区内平均 (N=1062)



2)供給者の現状分析

■業況感（個店調査アンケート 問3の地域別集計）

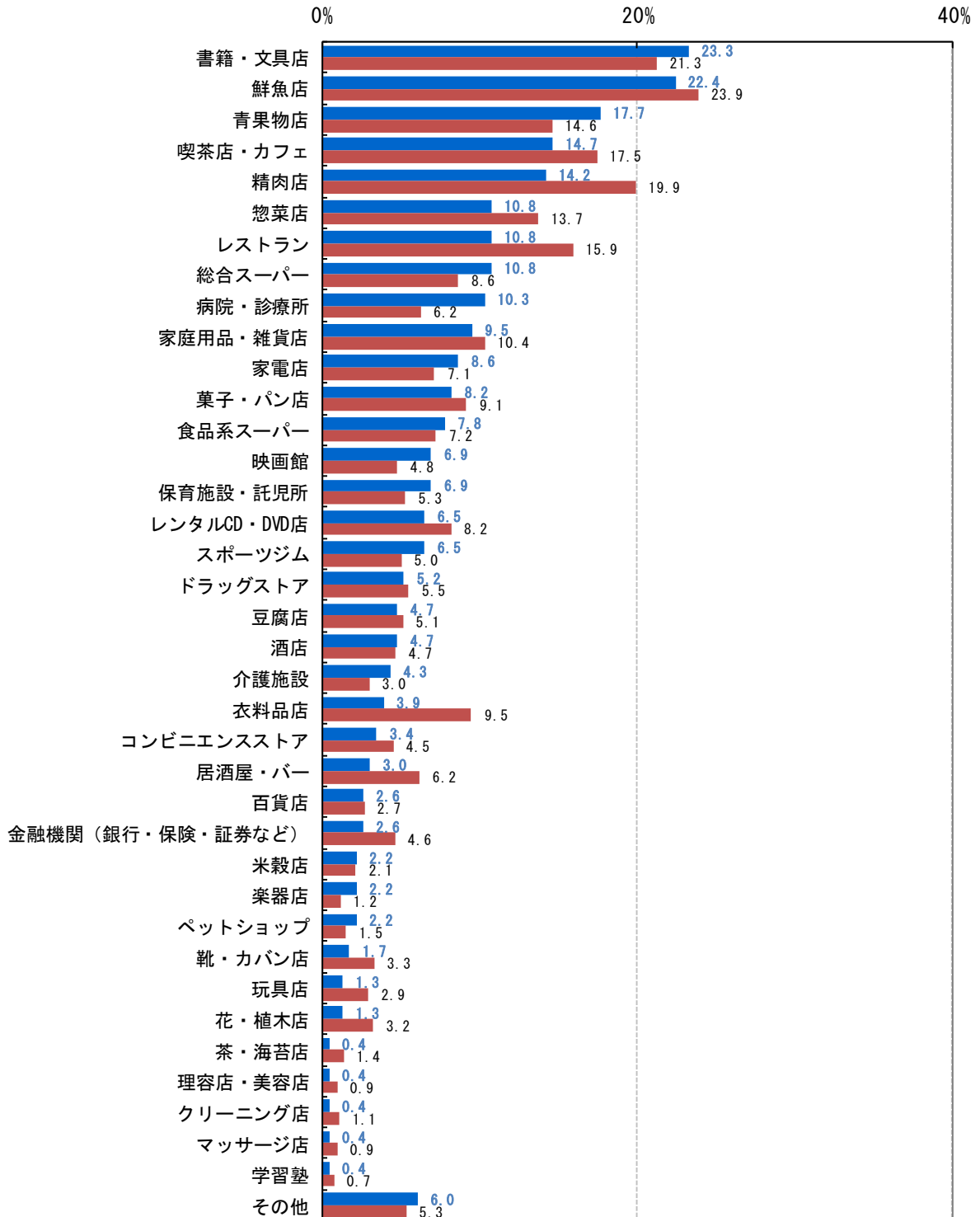
・「やや上昇している」「横這い」の割合が、区内平均から見て、相対的に高い割合となっている。



■ 供給者として感じている不足業種（個店調査アンケート 問6の地域別集計）

- ・ 不足業種として割合が高いのは「書籍・文具店」「鮮魚店」「青果物店」「喫茶店・カフェ」「精肉店」である。
- ・ 消費者側では一位とニーズの高かった「菓子・パン店」が、消費者側の不足業種として割合は低めであり、消費者とのギャップが見られる。

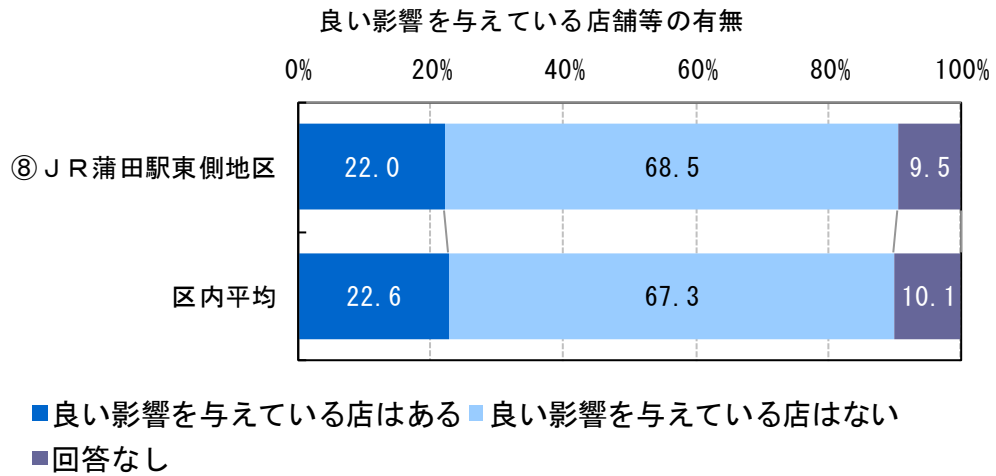
商店街にあったらよいと思うお店



■ ⑧ J R 蒲田駅東側地区 (N=232) ■ 区内平均 (N=1913)

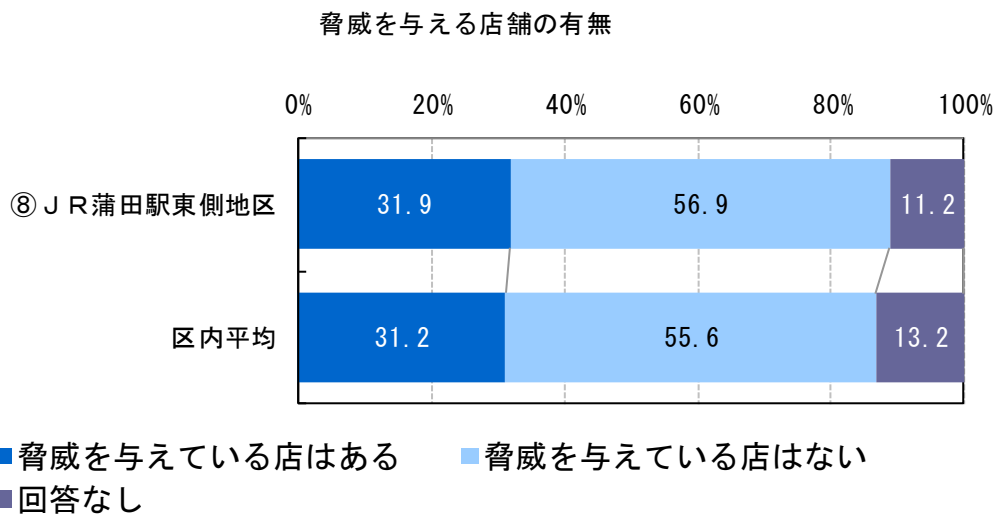
■ 良い影響を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問4の地域別集計）

- ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。
- ・「良い影響を与える店舗等」として、特段多く挙げられているものは少ない。



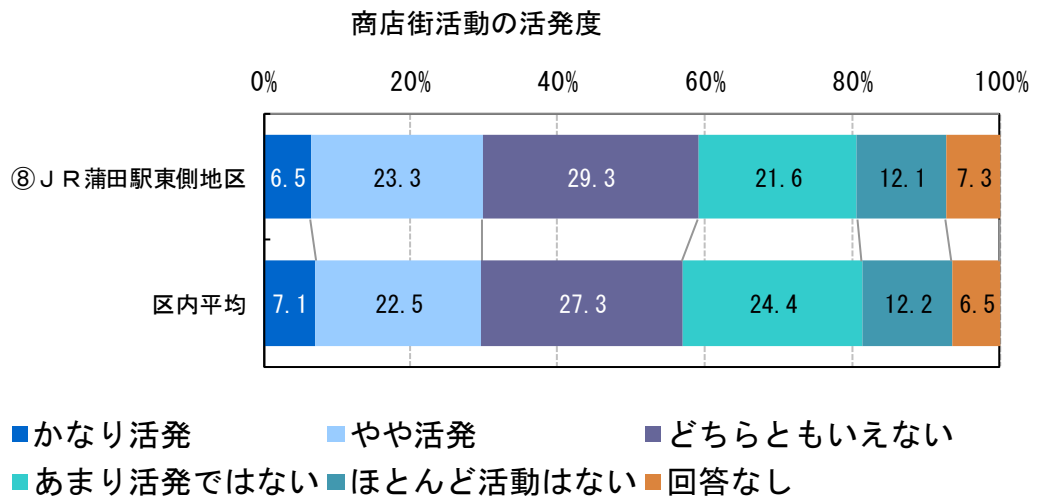
■ 脅威を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問5の地域別集計）

- ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均とほぼ同等。
- ・「脅威を与える店舗等」としては、総合スーパー、食品系スーパー共に OK スーパーを挙げる割合が高い。



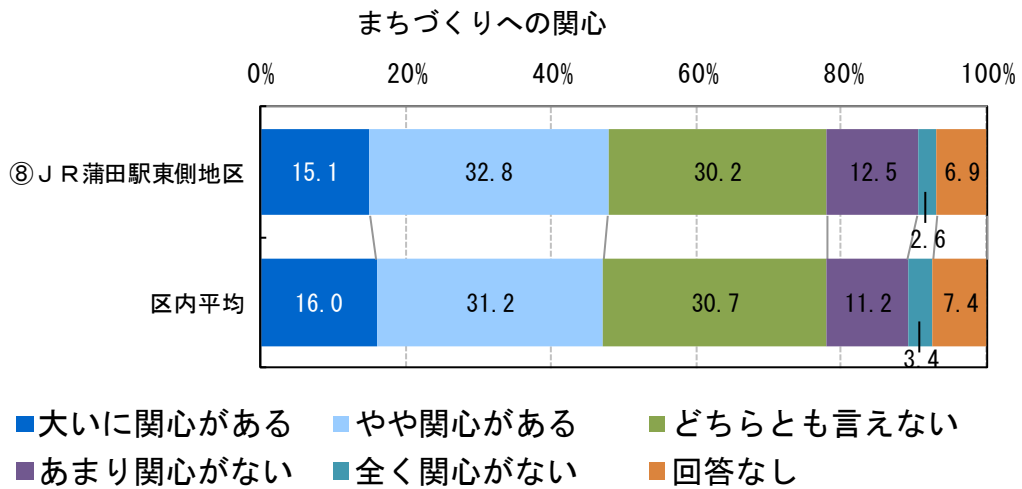
■商店街活動の活発度（個店調査アンケート 問11の地域別集計）

- ・「かなり活発」「やや活発」と回答した商店街の割合の合計は、区内平均とほぼ同等。
- ・一方で「あまり活発ではない」と回答した商店街の割合も区内平均より低くなっている。



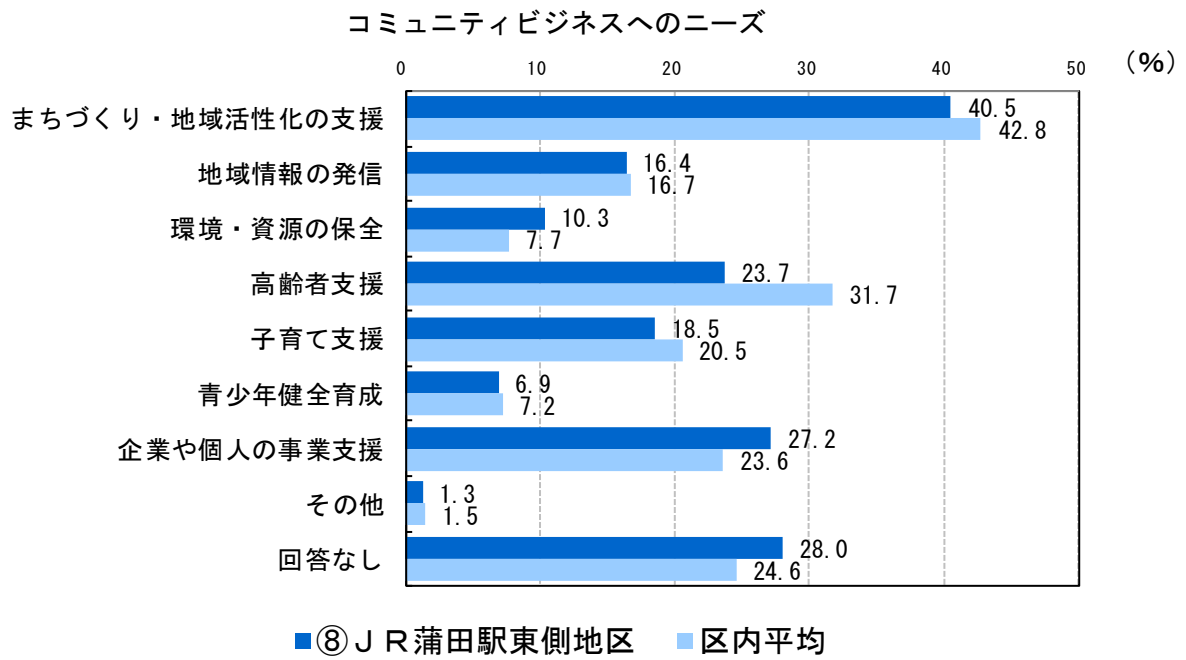
■まちづくりへの関心（個店調査アンケート 問16の地域別集計）

- ・「やや関心がある」の割合が区内平均よりも高いが、全般的にはほぼ同等。



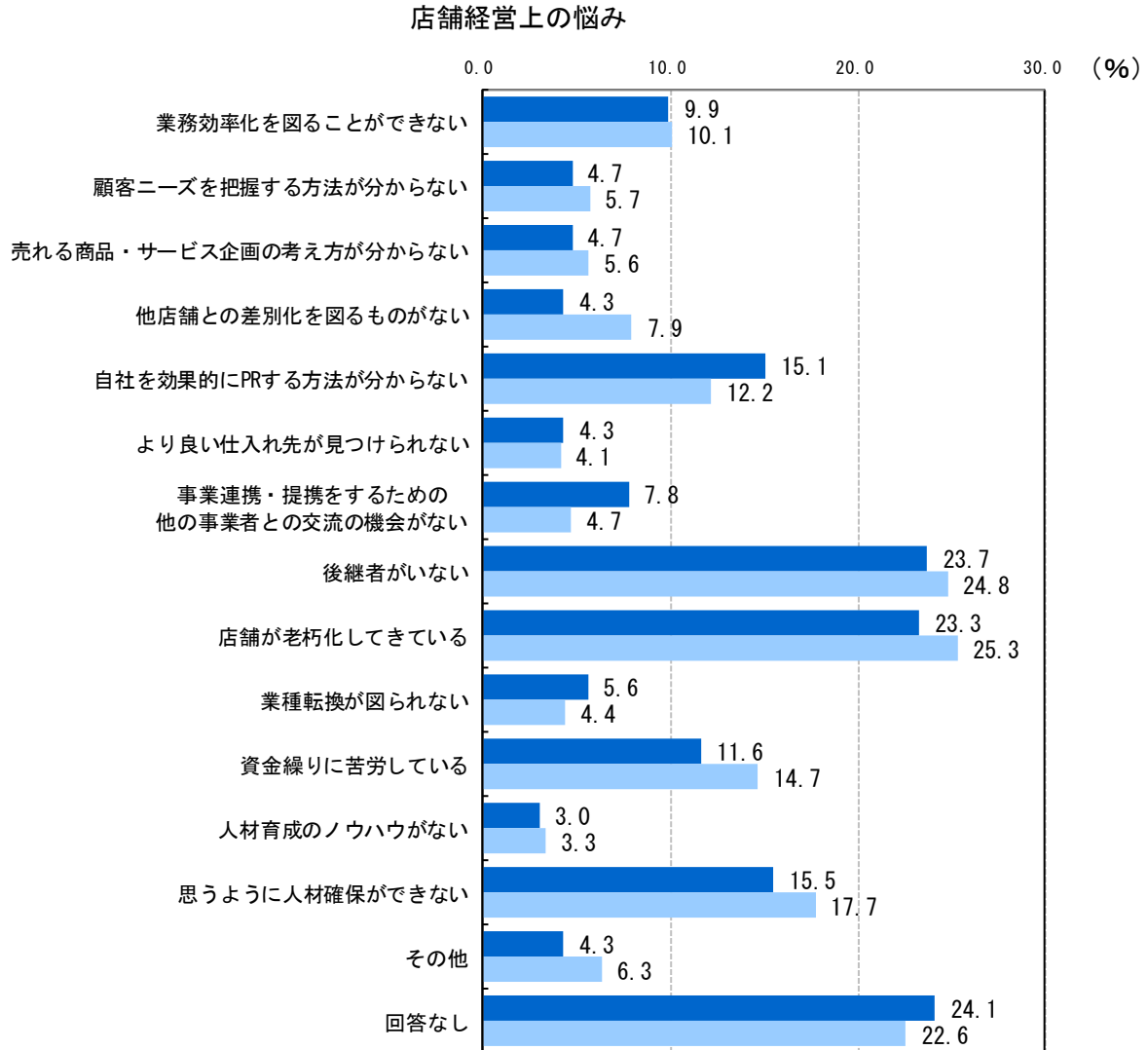
■コミュニティビジネスへのニーズ（個店調査アンケート 問7の地域別集計）

- ・区内平均と比べ、「高齢者支援」「まちづくり・地域活性化の支援」「子育て支援」ニーズが相対的に低く、「企業や個人の事業支援」のニーズが相対的に高い。



■店舗経営上の悩み（個店調査アンケート 問8の地域別集計）

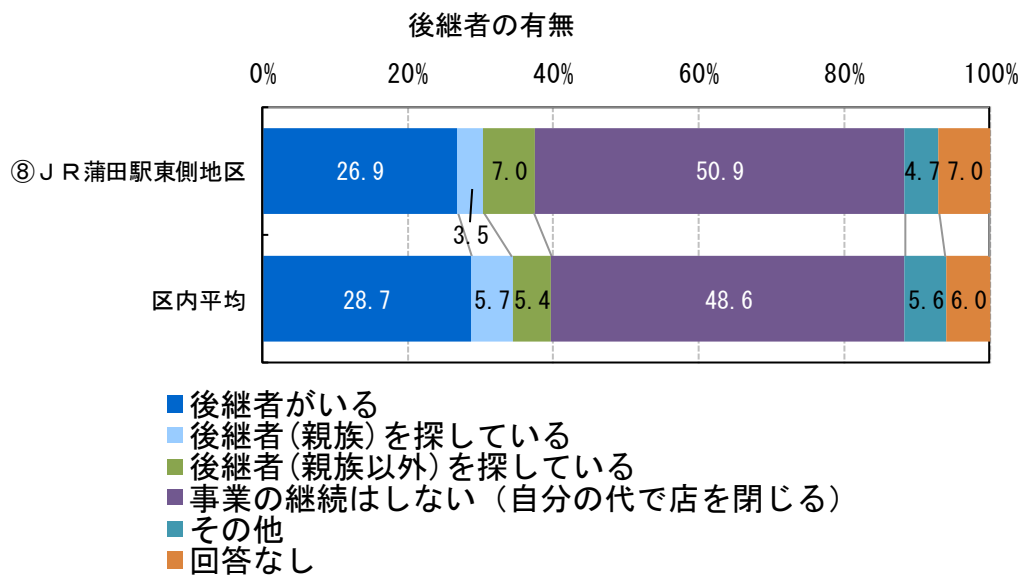
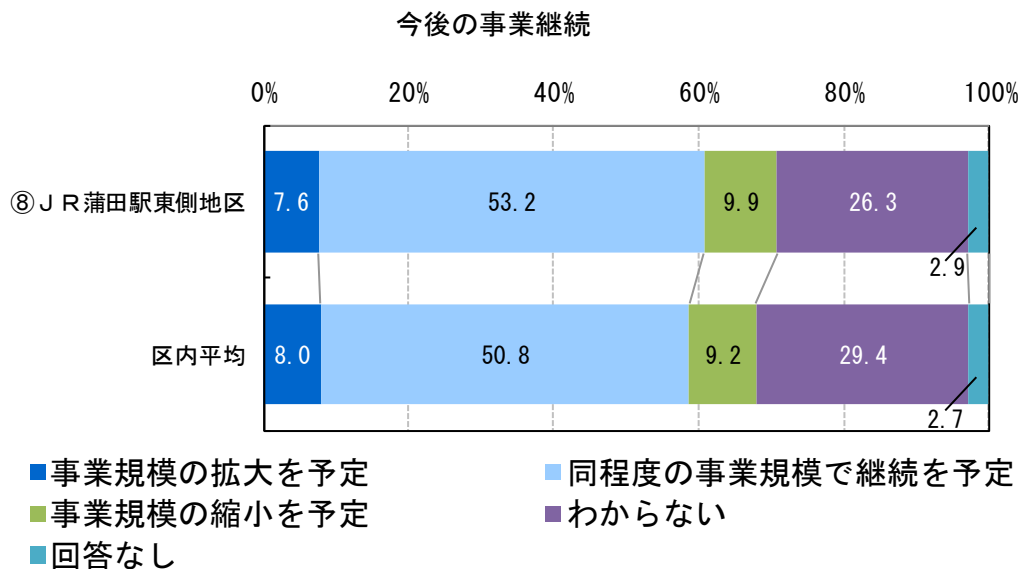
- ・区内平均と比べ、「自社を効果的にPRする方法が分からない」「事業連携・提携をするための他の事業者との交流の機会がない」という悩みの割合が相対的に高く、「他店舗との差別化を図るものがない」「資金繰りに苦労している」「思うように人材確保ができない」という悩みの割合が相対的に低い。



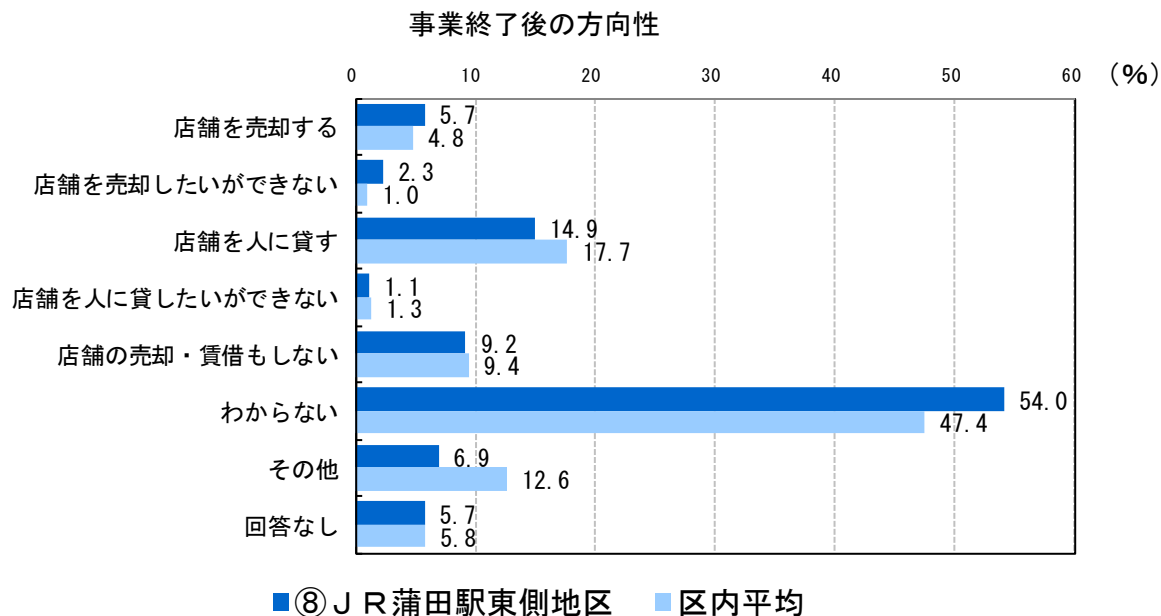
■ ⑧ JR 蒲田駅東側地区 ■ 区内平均

■後継者の有無と今後の事業継続（個店調査アンケート 問15の地域別集計）

- ・区内平均に比べて「同程度の事業規模で継続を予定」「事業規模の縮小を予定」と回答した割合が高い。
- ・また、「後継者がいる」「後継者(親族)を探している」店舗は区内平均より少なく、5割は自分の代で店舗を閉める意向である。

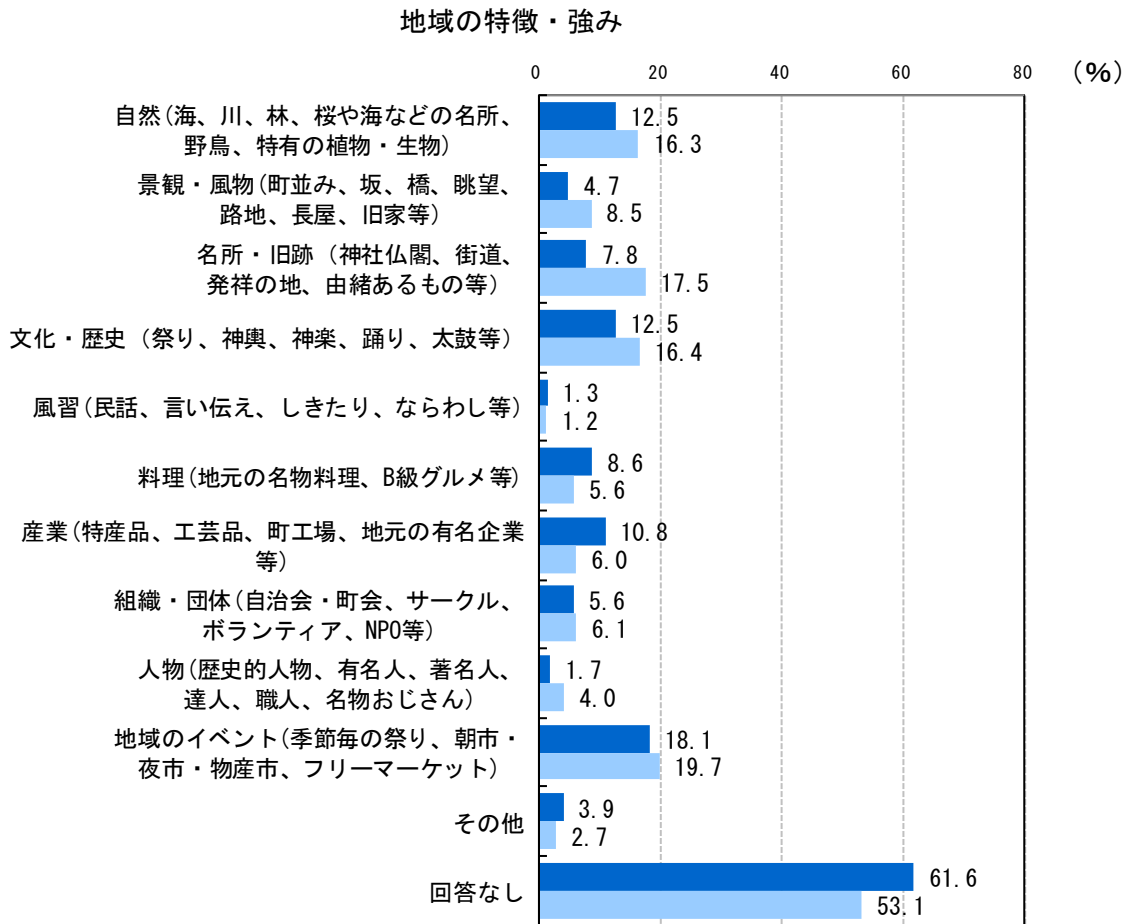


- ・自分の代で店舗を閉める店のうち、「わからない」とする店舗が区内平均よりも高く、「店舗を人に貸す」が低くなっている。



■ 地域の特徴・強み（個店調査アンケート 問18の地域別集計）

・ 地域の特徴・強みとして「産業(特産品、工芸品、町工場、地元の有名企業等)」「料理(地元の名物料理、B級グルメ等)」を挙げる割合が区内平均よりも若干高く、「名所・旧跡（神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」「文化・歴史（祭り、神輿、神楽、踊り、太鼓等)」を挙げる割合が低い。



■ ⑧ J R 蒲田駅東側地区 □ 区内平均